

2020年8月4日

## 2021年3月期 第1四半期連結業績の概要

### <2021年3月期 第1四半期業績:連結売上収益>

新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の世界的な感染拡大により、当社グループの生産・販売活動に多大な影響を受けました。その結果、海外販売台数は前年同期比 50.1%減の 115 千台、国内販売台数は同 44.3%減の 19 千台、海外と国内を合わせた全世界販売台数は同 49.3%減の 133 千台となりました。

連結売上収益は、販売台数の大幅な減少により、同 45.2%減の 4,570 億円となりました。

なお、全世界生産台数は同 64.8%減の 92 千台となりました。

新型コロナの影響を受けて、海外(米国 SIA<sup>\*1</sup>)および国内(群馬製作所)において、操業の一時停止を含む生産調整を2020年3月から6月<sup>\*2</sup>に行った結果、海外生産は同 64.3%減の 36 千台、国内生産は同 65.0%減の 56 千台となりました。

### <2021年3月期 第1四半期業績:連結損益>

連結損益についても、販売台数の大幅な減少により、営業利益は前年同期比 1,079 億円減少となる 157 億円の損失、税引前利益は同 1,001 億円減少となる 107 億円の損失、親会社の所有者に帰属する当期利益は同 742 億円減少となる 77 億円の損失になりました。

### <2021年3月期 通期連結業績見通し>

前回(2020年5月18日付 2020年3月期 決算短信)においては、新型コロナによる影響が多岐に及んでおり、合理的な算定が困難であったことから2021年3月期の通期連結業績見通しは未定としていましたが、現時点で入手可能な情報をもとに、以下の通り業績予想を算定します。

新型コロナの収束時期は見通せないものの、主力の米国市場を中心に自動車販売が下期にかけて一定水準まで回復するという前提で、全世界販売台数は 900 千台を計画します。

連結業績は、売上収益は 2 兆 9,000 億円、営業利益は 800 億円、税引前利益は 870 億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は 600 億円を計画します。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥105/US\$、¥120/EURO です。

\*1: Subaru of Indiana Automotive, Inc.

\*2: 国内(群馬製作所)は2020年4月9日から5月1日まで操業停止し、5月11日から6月19日まで生産調整を実施。

海外(米国 SIA)は3月23日から5月8日まで操業停止し、5月11日から5月末まで生産調整を実施。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

〈 2021年3月期 第1四半期連結決算 参考資料 〉

金額：億円、台数：千台、比率：%

	前期実績 2020年3月期 第1四半期累計期間 (2019. 4. 1-2019. 6. 30)	当期実績 2021年3月期 第1四半期累計期間 (2020. 4. 1 — 2020. 6. 30)			前期実績 2020年3月期 通期 (2019. 4. 1-2020. 3. 31)	当期予想 2021年3月期 通期 (2020. 4. 1 — 2021. 3. 31)		
			増減	増減率			増減	増減率
売上収益	8,334	4,570	-3,764	-45.2	33,441	29,000	-4,441	-13.3
日本	1,423	947	-476	-33.5	5,727	-	-	-
海外	6,912	3,623	-3,288	-47.6	27,714	-	-	-
営業利益	922	-157	-1,079	-	2,103	800	-1,303	-62.0
利益率	11.1	-	-	-	6.3	2.8	-	-
税引前利益	893	-107	-1,001	-	2,077	870	-1,207	-58.1
利益率	10.7	-	-	-	6.2	3.0	-	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益	665	-77	-742	-	1,526	600	-926	-60.7
利益率	8.0	-	-	-	4.6	2.1	-	-
営業利益増減要因		諸経費等	89			保証修理費	450	
		為替レート差	23			売上構成差	-1,300	
		売上構成差等	-1,015			為替レート差	-350	
		研究開発費	-139			研究開発費	-150	
		原価低減等	-27			その他	47	
		その他	-10					
為替レート	111円/US\$ 125円/EURO	107円/US\$ 118円/EURO			109円/US\$ 121円/EURO	105円/US\$ 120円/EURO		
設備投資	357	154			1,260	1,000		
減価償却費	221	230			961	1,000		
研究開発支出*1	245	254			1,187	1,000		
有利子負債残高	1,070	4,483			2,392	-		
業績評価		・2期振りの減収 ・2期振りの各利益減益 ・2期振りの連結販売台数減				・2期振りの減収 ・2期振りの各利益減益 ・2期振りの連結販売台数減		
日本販売台数合計	33	19	-15	-44.3	126	-	-	-
登録車	27	14	-13	-48.1	102	-	-	-
軽自動車	6	4	-2	-26.3	24	-	-	-
海外販売台数合計	229	115	-115	-50.1	908	-	-	-
北米	195	97	-98	-50.1	762	-	-	-
欧州	8	3	-5	-57.8	46	-	-	-
中国	6	6	0	4.1	21	-	-	-
その他	21	8	-13	-62.2	80	-	-	-
連結販売台数総計	263	133	-130	-49.3	1,034	900	-134	-12.9
生産台数合計	262	92	-170	-64.8	1,031	880	-151	-14.6
日本	160	56	-104	-65.0	664	-	-	-
米国	102	36	-65	-64.3	367	-	-	-
売上収益 事業別	自動車 7,960 航空宇宙 355 その他 20	4,371 187 12	-3,589 -168 -8	-45.1 -47.3 -40.3	31,939 1,421 80			
営業利益 事業別	自動車 878 航空宇宙 29 その他 15 消去・全社 0	-141 -28 13 -0	-1,019 -57 -2 -1	- - -14.9 -	2,003 51 36 14			

\*1. 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額。IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なる。

注1. 連結販売台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対するSUBARUの出荷などの合計値。

注2. 日本生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。